

科学の甲子園は
徳島市立高7位つ

知識と技能競う

都道府県代表の高校生が学校ごとにチームを組んで科学の知識や技能を競う「第6回科学の甲子園全国大会」が17、19日、茨城県つくば市で開かれ、岐阜県代表の県立岐阜高が優勝した。

科学技術振興機構（JST）の主催。代表の47校は、制限時間内に四足歩行のロボットを作って坂のあるコースで速さを競うなど、3種類の実技と、筆記の総合成績を争った。2位は東大寺学園高（奈良）、3位は海陽中等教育学校（愛知）だった。徳島県から出場した徳島市立高は7位に入った。

次回はさいたま市で開催される予定。